

法政大学 社会学部 人間・社会論 B 補講 (担当 荒井容子)

公開

## 第6ラウンド 14. 未来へ向かって「限界集落」の再生に挑む

(日本テレビ) NNN ドキュメント '09 (山口放送制作) (山口県上関町の離島 祝島)

「海を渡ったブタ 自立をめざす万葉の島」(2009年1月26日放映)の鑑賞と討議

KRY制作 NNN ドキュメント 09

### 「海を渡ったブタ ～自立を目指す万葉の島～」

鑑賞後、バズ・セッションを行います!

【日時】 2010年01月15日(金) 4限目 15:10~16:40

【場所】 法政大学多摩キャンパス B棟 201教室

#### —内容紹介—

舞台は万葉集にも歌われた、山口県上関町祝島。

過疎化・高齢化が進むこの島に、母親の介護のためにUターンした氏本さんは、連れてきたブタと共に、新しい風を巻き起こしていく…

氏本さん

島の良さが見えてきた我々はその良さを活かしていく責任がある。

そこで生まれた人がそこで息を引取れる  
最後まで地域が暮らしを支えてあげられる  
我々は離島であってもそういう暮らしを目指す

#### —参考—

「人口 520 人。4人に3人がお年寄りという山口県の祝島。北海道で牧場長を務めていた氏本長一さん(58)は一昨年2月、母の介護のため 41 年ぶりにUターンした。久しぶりに見た島の棚田は荒れ、家畜も姿を消していた。祖父や父が遺した棚田を次の世代に引き継ぎたいと、氏本さんはブタを放し、循環型農業の復活をめざす。ブタは草を食べ、鼻で根を掘り起こしてくれた。島民の支えもあり、半年で6枚の棚田が再生。芋の収穫も始まった。よみがえる棚田とブタの姿が、人々の笑顔を増やした。そして氏本さんらはお年寄りが最期まで島で過ごせるように、島に宅老所をつくらうと「祝島未来航海プロジェクト」を発足させた。」

(NNNドキュメント ホームページ <http://www.ntv.co.jp/document/back/200901.html> 掲載の紹介文)

#### —メモ—

氏本さんのブログ 氏本農園・祝島だより [http://blogs.yahoo.co.jp/farm\\_ujimoto](http://blogs.yahoo.co.jp/farm_ujimoto)

#### 限界集落

「65歳以上の高齢者が集落人口の半数を超え、冠婚葬祭をはじめ田役、道役などの社会的京都を生活の維持が困難な状態に置かれている集落を、私は『限界集落』と呼んでいる。「むら」を守り、森を守り、水を守り、海を守り、総じて国土を守り続けてきた人たちは、いま日々の体力の衰えの中、消滅修羅区への一里塚を刻みつつある。『限界集落』は人体をむしばむがんにも似た社会的病理となり、とめようのない国土の崩壊を招きつつある。」(大野 晃『限界集落と地域再生』京都新聞出版センター、2008年11月、16ページ)

ちなみに、祝島はドキュメンタリーによれば4人中3人が65歳以上の高齢者のようで、50パーセントはゆうに超えています。

受講生以外の方でも大歓迎です。いっしょにご覧になりませんか。

(このチラシは学生アシスタントが中心となって作成しました)